

2020年Web写真展入賞者及び講評

最優秀賞 「透過光」 渡邊 咲耶 佐和高校2年

大空を背景に仰角から狙った斬新な構図が素晴らしい。左よりの被写体の位置もよく、逆光による透過光で傘や骨も上手く表現されモノトーンの味わいのある写真です。リュックから下がる人形のストラップもいいアクセントになって素晴らしい作品になりました。

優秀賞 「春三日月も顔を出す」 田村 凜 清真学園高校2年

手前の花にピントを合わせ、後ろの友達をアウトフォーカスにしたのが成功しました。また暗い背景が白い花を引き立たせ、水平を傾かせたことも思春期の不安定な精神状態を現わしているようにも思えます。ただ、作品と題名がどうつながるのか悩ましいところです。

優秀賞 「飼い主の釣り方 Part1」 小原 七海 鹿島高校1年

撮影者に語りかけてきそうな猫の表情がよい。右の空間を空けた絵作りも良いと思います。鼻にピントがきていますが、この場合猫の左眼にピントを合わせるのが常道です。

佳作 「神事」 坪井 凜音 霞ヶ浦高校1年

社殿の日常を写したのですが、組み方も慣れていて1年生とは思えない出来栄です。光を効果的に生かして撮影しているのは立派なものです。しかしこの題名と写真の内容とは少し違和感を感じます。

佳作 「失恋」 猿田 音和 水戸第二高校2年

雨模様のどんよりした背景に加え、スローシャッターでの被写体のブレによって題名の「失恋」の心情が伝わってきます。手すりやビニール傘の骨や傘についた雨粒にはしっかりとピントがあるので作品として成功しています。

佳作 「光」 戸井田 奈凡 水戸第三高校2年

夜の闇を基調とした中に道路の白線、ヘッドライトの光芒、ビルの窓から漏れる灯りなど白の部分が程よくあって落ち着いた印象に残る作品になりました。

佳作 「ストライク」 黒澤 辰之介 水戸工業高校1年

空振りストライクを絶妙なタイミングで写し止めました。球技の場合、ボールが画面上にあることが肝要できちんとキャッチャーミットに収まっています。ただ、画面が窮屈なので少し引いてバッターの足元やキャッチャーの背も入れたいところです。

佳作 「ずーと一緒に」 岡田 陽依 牛久栄進高校3年

犬の右眼にピントがきていて動物撮影の基本であるピントの置き方がきちんと出来ています。背景に写るアウトフォーカスの女性の犬を慈しむような表情もうかがえ好感がもてる作品になりました。